「メンター研修」を中心とした、若手教員の育成を目指す短時間で行う校内研修の事例

|  |
| --- |
| 研修名：「誰でもできるＩＣＴ活用」研修 |

|  |
| --- |
| 目　的：授業の中で誰でも簡単にできるＩＣＴ活用について学ぶ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校種 | 小学校・中学校 | 研修時間 | 30分 |
| 対　象 | （メンティ）：ＩＣＴ活用を苦手としている若手教員  （メンター）：ＩＣＴ活用の得意・不得意にかかわらず、活用している中堅以上の教員 | | |
| 配付物 | ・「ＩＣＴ活用授業」のちょっとしたコツ | | |

■　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 主　な　内　容 | 備　考 |
| ３分  ５分  13分  ７分  ２分 | １　オリエンテーション  プロジェクタと実物投影機の「電源コード」、プロジェクタと実物投影機をつなぐ「ＲＧＢコード(ＨＤＭＩコード)」の３本の線のつなぎ方を確認する。    ２　演習  授業中に投影が有効だと思われるものを各自職員室から持ってきてもらい、スクリーンに映してみる。  　　例：教科書・資料集・自作のプリント・児童生徒のノート  ３　協議  実際に授業で実践した事例から、児童生徒の反応などを含め、成果や課題を提示する。  　・指示が通りやすく、時間の効率化が図れた。  　・児童生徒からの指示の聞き返しが減った。  ・使うことが目的ではなく、授業の目標を達成するための有効な手段としてどう活用するかが課題である。　など  ４　説明「実物投影機の使い方の応用例」  　・顕微鏡に接続して、映すことができる。  ・合唱練習等で児童生徒の様子をライブで映すことがーできる。  ・笛の指使い、裁縫の玉結び、パレットでの色の混ぜ方など、教卓周辺に集めなくても、全員で確認できる。  ・実物投影機で映しているものを、デジタルカメラのように撮影してＳＤカードに保存できる。　など  ５　まとめ  実物投影機以外でプロジェクタにつなげる機器の紹介し、研修のまとめとする。 | ※係でつないでみせた後に、何人かの先生に実践してもらう。  ※若手教員にも有効なものを予想させて、持ってきてもらう。    ※メンター側の教員が有効なものを映し、ポイントを提示する。  ※パソコンやデジタルカメラなどを紹介する。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 期待される成果 | 「言語活動の充実」や、それに伴う「主体的・対話的で深い学び」の授業を実践するにあたって、ＩＣＴ機器を日常的に活用することにより、授業力の向上を図ることが期待できる。 |